（別紙）

令和7年度（令和6年度からの繰越分）障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業（介護ロボット等導入支援事業）事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。（一体的に利用している機器を除く）

自治体名　埼玉県

【基本情報】

フリガナ	ｼｬｶｲﾌｸｼﾎｳｼﾞﾝ ｻｲﾀﾏｹﾝｼｬｶｲﾌｸｼｼﾞｷｮｳﾀﾞﾝ
法人名	社会福祉法人　埼玉県社会福祉事業団
フリガナ	ｻｲﾀﾏｹﾝｼｬｶｲﾌｸｼｼﾞｷｮｳﾀﾞﾝ ﾊﾅｿﾞﾉ
事業所名	埼玉県社会福祉事業団　花園
施設・事業所種別（指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択）	
障害者支援施設	
職員数（常勤換算数）【「従事者の1ヶ月の勤務時間」／「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数　×　4（週）」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
65.5 人	

（1）主な導入機器内容（種別・機器名等）

機器の種別：☐ 移乗介護　☐ 排泄支援　☑ 入浴支援
☐ 移動支援　☐ 見守り・コミュニケーション　☐ 機能訓練支援　☐ 栄養管理支援

機器名（導入台数）機械浴槽　シャワーポッドアラエルシャワードーム・ユニバス浴槽

（2）ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数 B.ひと月当たり	発生件数 C.年間発生件数（B×12）	D. 1件当たりの平均処理時間（分）	人時間 E（A×C×D）	1人あたり業務時間（C×D／A）
直接介護	1　移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2　排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3　生活自立支援（※1）			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4　行動上の問題への対応（※2）			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5　その他の直接介護	2 人	248 件	2,976 件	11 分	1,116 人時間	279 時間
間接業務	6　巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7　記録・文書作成・連絡調整等（※3）			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8　見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9　その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			248 件	2,976 件	11 分	1,116 人時間	#DIV/0!

※1　入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2　徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3　利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

＜※1＞B. ひと月当たり発生件数の算出方法

入浴支援：利用者人数8名 × 月31回実施　＝　248件（1ヵ月あたり入浴回数：約10．3回／1人）

＜※2＞D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

入浴支援実施時間　14：30～16：00
90分　÷　利用者数8名　＝　11．25分（利用者一人あたりの平均入浴時間）

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数 B.ひと月当たり	発生件数 C.年間発生件数（B×12）	D. 1件当たりの平均処理時間（分）	人時間 E（A×C×D）	1人あたり業務時間（C×D／A）
直接介護	1　移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2　排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3　生活自立支援（※1）			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4　行動上の問題への対応（※2）			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5　その他の直接介護	2 人	248 件	2,976 件	11 分	1,116 人時間	279 時間
間接業務	6　巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7　記録・文書作成・連絡調整等（※3）			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8　見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9　その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			248 件	2,976 件	11 分	1,116 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

＜※3＞B. ひと月当たり発生件数の算出方法

入浴支援：利用者人数8名 × 月31回実施　＝　248件（1ヵ月あたり入浴回数：約10．3回／1人）

＜※4＞D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

入浴支援実施時間　14：30～16：0090分　÷　利用者数8名　＝　11．25分（利用者一人あたりの平均入浴時間）

年間業務時間数想定削減率（%）

0.0%

（3）削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

（4）ロボット機器等の導入により得られた効果

【アラエル】
操作手順が少なく扱いやすい。全身洗浄中に頭部の洗髪ができるため、時間を有効活用できる。お湯をためる必要がなく、少量のお湯でしっかりと温まることができ、利用者も緊張せずに入浴できている。
【ユニバス】
お湯にゆっくり浸かりたい、自分で洗体できる利用者に適しており、個々の状況に合わせて入浴方法を選択することができる。浴槽からの立ち上がり・移乗介助が減ったことで、転倒リスクが大幅に減少し、職員の肉体・精神的負担が軽減された。

双方の機械浴槽が導入されたことにより、以前の入浴設備では段差が怖くて浴槽に浸かることができなかった利用者も浴槽に浸かることができるようになった。職員も浴槽から利用者を誘導するさいの介助、転倒リスクが軽減された。

（5）今後の課題

ユニバスは操作手順が多く、湯張に15分程度要するため、アラエルと比較すると時間効率が悪い。体重が軽い人はお湯に浮く感覚を感じるため利用者によっては緊張する方もいる。
逆に体格がしっかりしている利用者については、車いすから移乗する際に力を要することが課題としてあげられる。

（6）気づき等について

・お湯に浸かることができるユニバスよりアラエルの方が利用者の人気が高い。
・アラエルに使用するボディシャンプーの消費が想定より早い。

（7）費用面での効果（ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。）

ロボット機器等の導入による費用の縮減	有

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額（円／月）	1,575,000円
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	有
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

既存居住棟の改修工事費用への充当

（※2）サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

導入前の入浴支援では2人の職員により、洗体、浴室内利用者の把握、様子観察、着脱支援を行っていた。
高齢や滑りやすい環境での転倒リスクが高く、また洗体時の体勢等、職員に精神的・身体的な負担がかかっていた。
導入した機器（アラエル）の自動洗体機能により、ユニバスを利用する利用者の洗体に集中することができ、把握や洗体の負担が軽減された。
また、アラエルによる入浴が利用者にとっても好評であり、導入前は入浴支援中に拒否が見られた利用者も入浴用車いすに移乗した後に拒否等もなく
気持ちよく入浴ができるようになったことから、職員の精神的・身体的な負担軽減と利用者へのサービスの質の向上に効果を発揮する結果となった。
導入後の運用については、まだまだ改善の余地があることから引き続き効果的かつ効率的な運用を進めていくこととしたい。